

厚岸湖におけるプランクトン群集の季節変化(中間報告)

志賀直信(北海道大学大学院水産科学研究科)

1. 研究の目的

これまでに厚岸町カキ種苗センターによって厚岸湖のカキ生産力の評価と管理の基礎となる植物プランクトン現存量の指標としてクロロフィル量の資料が徐々に蓄積されてきている。しかし、植物プランクトン群集の季節変化を丹念に調べた研究はない。

本研究は、採集が身近にできることを最優先させて観測点を選び、物理・化学的環境要因の変動が大きいと思われる厚岸湖において、採集間隔を密にしてプランクトン群集の季節変化を明らかにすることを目的とした。プランクトン群集の季節変化を調べることは、生物生産力を知る上で基本的に重要であり、資料が長年にわたって蓄積されれば、水域の環境変化のモニタリングに供すること大である。なお、本研究は、厚岸町カキ種苗センターとの共同研究である。